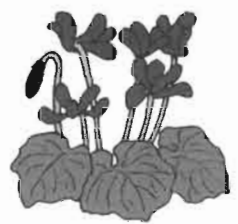


片瀬社協
だより

しあわせ

平成22年11月25日発行
編集・発行
片瀬地区社会福祉協議会
藤沢市片瀬3丁目9番6号
片瀬市民センター
☎ 0466(27)2711



いつでもラッシュと立ち寄れる場所 ひだまり

いろいろな世代が気兼ねなく集まれる片瀬にできた大きな陽だまり。

今年の春オープンした片瀬地区ボランティアセンターと安全・安心ステーションです。

ボランティアセンター居場所「ひだまり」は、七月末までの利用者数が一、七二六名、お茶を飲みながら自由におしゃべりをして、知らない人と顔なじみになり、それが地域への繋がりの輪になっていく、そんな「ひだまり」は、お年寄りから赤ちゃんを抱いたお母さんまで年令を問わず、泣いたり笑ったりと大賑わいです。

第一を除く木曜日、十時〜十二時に、人気の「かたせにこにこ広場」があり、今までに二二四名のママとお子さんが利用しています。 ”いつでも気軽に行けるし、行けば誰か必ず声をかけてくれてお

しゃべり“。先輩ママさんの体験も聞くことができるので、これからも参加したいと思っっているのですよ“との声も…。

特に、子育てに関しては、経験豊かなスタッフがいますので、子育てについての悩みや制度の仕組みなど、何でも相談できます。

また、子育てに必要な離乳食や歯科衛生に関するミニ講座も、月一回おこなっています。

第二・第四木曜日の午後三時から、公民館で福寿学校を終えた生徒さん達が立ち寄って、お茶を飲んだりおしゃべりをしたりとサロンルームになります。

また毎週木曜日には、神奈川ワークショップの手作りパンを五十個販売。安くておいしいパンは人気商品となっています。

◎第二金曜日はチクチク小物作り

◎第三金曜日は編み物
◎第四金曜日は成年後見人制度の学習会

などいろいろなイベントの用意もしています。

ボランティアセンターの人気者くまの縫いぐるみ”のんちゃん”が見守っている表では、安全・安心ステーションのボランティアの方達が、いつも温かい声を登下校児にかけています。

地域の人達が育てあげているボランティアセンターが、片瀬のまちを包み込んでしまうような、大きな大きな陽だまりとなってきたことを感じるこの頃です。

ぜひ一度のぞいてみてください。

居場所「ひだまり」は
午前十時〜午後三時まで
開いています(土・日・祝日は除く)



広報部会研修

七月二日（金）、私たち広報部会は川崎にある社会福祉施設「みやうち」を訪問しました。ここには
 ・障害者施設が併設されていて、十八歳〜七十三歳の六十五名の知的障害のある方が通所されています。
 施設はとても明るく開放的で、自立に向けて皆さんが元気に作業していました。

またアルミ缶収集の協力や納涼祭・もちつき大会等、地域との交流を積極的に図っているとのことでした。

午後には藤沢市のグループホーム「COCO湘南台」を訪問しました。住み慣れた地域で最後まで自立した生活を送りたいとの思いから、西條節子氏を中心に三年の準備期間を経て、一九九九年に開設されました。

現在十名の方が静かな環境の中、自分の生活リズムを大切に、ゆったりとくつろいだ生活を楽しんでいます。敷地内には広々とした家庭菜園があり、各部屋のバルコニーから降りられるようになっていています。皆さんはバルコ

ニーで朝食をとったり、ガーデニングを楽しんだりしています。帰りにはその菜園から採れた青じそを沢山頂きました。



COCO湘南台



介護老人福祉施設 みやうち
障害者支援施設（通所）みやうち



園児の歌



九月六日（月）片瀬しおさいセンター体育室にて約三八〇名の方の参加があり、にぎやかに敬老会を行いました。盛大な祝い太鼓から式が始まり、ご結婚六十・五十周年のご夫妻に市長直筆の色紙の贈呈がありました。昼食後には、津軽三味線や落語、片瀬のぞみ幼稚園の園児の歌、おわりには皆の合唱で閉会となりました。

片瀬地区敬老会

片瀬地区ふれあいまつり 福祉バザー



好評の「藤沢チャーメン」

片瀬地区ふれあいまつりは、十月十六・十七日の土・日に、市民センター・公民館本館と分館のしおさいセンター、そして双方の駐車場を会場として、好天にも恵まれ、今年も楽しく盛大に催されました。
 片瀬地区社協ふれあい部会主催の福祉バザーは毎年ふれあいまつりの初日に行われますが、今年の収益はおよそ十六万円でした。皆さんのご協力、有難うございました。また「藤沢チャーメン」の売り上げも上々で、こちらの収益も今後の福祉活動の資金に使わせて頂きます。

児童福祉の現場から

ある児童養護施設の職員から聞いた話をひとつご紹介しましょう。

他市のその施設には、生後間もない乳幼児から定時制高校の最上級生まで、数十人の児童がいくつ

かの寮に分かれて生活しています。

あるとき、五歳の女の子が緊急入所してきました。父親が殺人事件を起こして逮捕され、そのために母親と幼い子供たちはたちまち路頭に迷って、そのうちの一人が児童相談所の職員に連れられてきたのです。その子は施設の職員がいろいろ話しかけても硬い表情のまま何ひとつ答えませんでした。

やがて就寝時になってベッドのそばに連れてこられたときに、初めて大きな声をあげてしばらくの間思いきり泣いていました。その泣き声には、きつとその子の全ての思いが込められていたのでしょう。

翌日からは徐々に打ち解けて口をきくようにもなり、数カ月後には母親の元に戻っていききました。その頃にはよく話もし、可愛く

しあわせとは



昨年、我が家に待望の長男が誕生しました。その後順調に成長し、お陰様で今年の八月には一歳を迎えました。長男の毎日の何気ない変化に感動したり、日々子供と共に、ふれあい広場』などの交流を通じて、家族との生活を楽しくしております。

我が子が誕生した頃は何もかもが初めてで、今までの生活が一変し、心身ともに毎日『疲れた』が口癖で、育児を楽ししいとは感じな



しあわせ 幸福な時間

片瀬目白山 米持優子

い自分がいました。そんな中で、夫の姉から譲り受けた一冊の本にこう記されていて、思い悩んでいた自分が助けられました。『赤ちゃんは生命力に満ちています。泣いてばかりいた赤ちゃんは

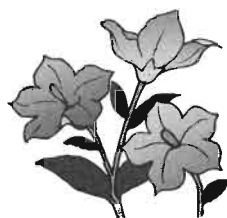
悩む前に赤ちゃんの前向きさを見習いましょう』

子供と接して毎日の変化を目の当たりにしているいちばん身近にいる母親との交流が、とても大きく子供に影響してしまうという事、そして私は一人の間を育てているんだと実感させられました。充分自分を責めた後、

一年経つとすくつと立ちあがり、言葉を話し、自分の足で歩き始めます。転んでは起き、また転んでは起きあがるエネルギーには圧倒されるばかりですよね。あれこれ

活を振り返り恥ずかしくなつたものです。今では、朝起きて「きょうは何をするよ!どこどこに行くよ!」が私の息子への口癖になり、さま

笑う子になっていましたが、今はどうしているだろうか…。この話をしてくれた職員は、親のために受けたその子の心の重荷のことを今でもときどき思い出すそうです。



ざまな事にチャレンジしております。

その中でも、片瀬の『こここ広場』という所は私と息子のお気に入りの場所です。笑顔で迎えてくれる人々がいて、刺激され、励ましあい、育児を共感できる友人もできました。

そこにはとても柔らかな時間が流れています。私は我が子に幸福な時間をプレゼントされました。

・こここ広場 毎月第二、第五

木曜日

ポランティアセンター

・ふれあい広場 毎月第一水曜日

片瀬市民センター地下

第一談話室

私の健康法

片瀬山二丁目

川内道夫



健康法は何かと言われてハタと気がついたのは、私は今まで自分の健康について考えた事がなかった事です。従って私に書けるのは、単なる八十五歳の老人の雑な体験談に過ぎません。

子供の頃からスポーツが好きで、現役時代はゴルフ、引退前後からはテニスを始め、以来全日本を初め、国内外のヴェテラントーナメントに参加し、中年から始めたテニスプレーヤーとしては満足すべき成果を収めたと思っております。藤沢市から何度か表彰もされました。現在も六十歳代のプレーヤーを相手に練習を続けています。私の健康法はテニスだと周囲から言われることがあります。私の場合テニスは体力を酷使し試合の度に命をちぢめる思いで、健康

法だとの自覚はありません。

去る8月末の関西オーブン選手権では決勝戦で負けましたが、四日間43度を越す炎天下で三時間近いシングルの試合をやるのは身に良いわけはありません。

家内は食事のバランスに気を使っているようですが、唯一私が努めているのは睡眠を十分とる事です。

余り物事に拘らず、食欲に任せて、好きなものを好きなだけ食べ、天気が良ければコートに出て行く気俣な生活ですが、これが私の健康法と言えるかもしれません。



お詫びと訂正

前号(36号)「まちのお医者さん」の記事中、二十才台、七十才台とあるのは誤りで、正しくはそれぞれ二十歳代、七十歳代です。筆者の原田誠一先生にお詫び申し上げます。訂正いたします。

まちのお医者さん



あたりまえに動ける幸せを願って

片瀬整形外科(片瀬山三丁目) 小野 彰夫

おかげさまで開業しては五年たち、たくさんのお患者さんに出会いました。日常の外来では、赤ちゃんから高齢者まで、幅広い年代の患者さんと関わっています。年代別に、『子供たち』は成長障害を残さず健やかに育つように、また『働き盛りや忙しい世代の方』は、より早く通常の生活に戻れるようにといつも考えながら診療しています。

『高齢者の方』はというと、メタボ対策、つまり高血圧や糖尿病など生活習慣病の改善で、現在、日本は世界一

のスピードで高齢化が進んでいます。しかし長寿の反面、人間の活動に大切な筋肉や関節などの運動機能の衰えや、骨粗鬆症に伴う骨折などで、介護生活や寝たきりという社会問題も起こっています。高齢者の方が心身ともに自立できる健康が続くように、運動機能の衰え(ロコモティブ症候群)の予防に特に力を入れております。

片瀬のすべての人達ができる限り元気でいられることを全スタッフで願い、これからも頑張つてまいります。

今回の題字「しあわせ」は本蓮寺のご住職に書いて頂きました。

大きなおもいがどつさり

十月七日(木)、事業部会主催のさつま芋掘りに四十九名が参加しました。今年はとりわけ大きなお芋がいっぱいとれました。

編集後記

連日暑い日が続いてきたのが嘘のように、いつの間にか寒い季節になりました。秋の行事も大方終わり、クリスマスのニュースがチラホラ。インフルエンザに気をつけて、元気に冬をのりきりしましょう。

(永倉)